

〈市民の方知ってほしいこと〉はなんですか？

- ・地域の活動やごみの分別等、知らないだけなので、教えていただければできます。
- ・外国人と言ってもブラジルの方は日本人の血が流れている日系人がほとんどです。

虹の架け橋 菊川・小笠教室 (菊川市・掛川市・御前崎市委託事業)

日本語を母語としない外国人児童生徒達が日本語、日本の文化やマナー、学校のルールの基礎を学んでいます。

対象：小学校1年生～中学校3年生

授業時間：9：30～15：20（送迎付き）

適正な受入数：24名

指導員：指導員3名、事務員1名

2カ月～半年で終了し、3市の公立小中学校へ編入しています。

住所：菊川市下平川 6269 / 連絡先：090-3939-2817

〈運営上の課題は何ですか？〉

- ・真面目な人が多いので、積極的に話しかけてほしいです。
- ・外国籍の人たちも納税者です。日本人と同じサービスを受ける権利があると思います。
- ・入校希望者を全員受け入れたいが教室数、職員数が限られ、待機児童が常にいることが一番の課題です。
- ・3月の1カ月間、補助金の都合で教室を閉鎖しなくてはなりません。2月末には日本語習得が途中でも、小中学校へ送り出さなくてはならず、年度末の3月に学校を変わる子ども達にも負担がかかり、先生方の負担も増えてしまいます。
- ・当初予定の児童生徒数より増え、月平均約30名の在籍になっていたこともあるため、事業費が不足しています。

〈行政や議会への要望はありますか？〉

- ・5年後から、永住権を取得した技能実習生が家族を呼び寄せて地方に流出し、外国籍児童が増加します。それまでに、行政や教育のシステムを確立して欲しいと思います。
- ・外国籍児童生徒の指導期間短縮のためにも、教育委員会、学校関係者には、参観ではなく実際に授業を体験していただき、問題点

菊川市の外国人数 【2019.6.30現在】

菊川市住民 48,470人

内外国人住民 3,543人 (7.3%)

※静岡県内で人口に対する外国人割合が最も多くなっています。

虹の架け橋に通っている児童生徒の国籍

【2019.7.5現在】

ブラジル11名、フィリピン7名、パキスタン3名、ペルー1名、ベトナム1名

○待機児童生徒

ブラジル4名、フィリピン8名、ペルー1名

や改善点をより共有して欲しいです。

- ・日本人の人口が減っていく中で、外国籍児童が増加しています。今この子ども達に母語と日本語の習得等しっかりとした教育を与えることが、世界を繋ぐ架け橋となつて、将来の日本を支えることになっていきます。

先行投資と考え、今以上の助成金捻出をお願いしたいです。